



自分の得意をみんなに披露！（実践編）

「君こそスターだ！in 潮見」を、2月9・13・15日の昼休みに実施しました。校長室だよりNo.50でもお伝えしましたが、子どもたちが得意としていることを、体育館のステージやフロアで発表する活動で、運営委員会が主体となって企画、運営をしました。約30チーム（個人も含む）、100人以上の子どもたちが参加しました。披露した内容は、合奏、ピアノの演奏、歌、ダンス、フラフープ、縄跳び、英語、立体パズル、マジック、書道など、多岐に渡りました。

この活動の中で、私がうれしかったことがたくさんありました。

「君こそ…」は、昼休みに行った運営委員会主催の任意の活動なので、授業中に実施する「〇〇集会」のように全員参加のものではありません。それでも、大勢の子どもたちが自主的に参加したことは、大変意義深いと思います。みんなが見ている前で発表することは、いくら自分が得意なものであっても、勇気のいる行動と言えます。そこに挑んだ子どもたちがたくさんいたことに、潮見小学校の潜在能力の高さを感じました。

一方、発表は難しいけれど応援ならできる、という子もいました。観覧している子どもたちが、大変好意的に友達の発表を見ていました。発表する子も、時には失敗をします。それでも、温かい雰囲気のまま、会が行われていました。また、自分のクラスの友達が出場するときには、手拍子をしたり一緒に体を動かしたりして、より一層この会を盛り上げていました。クラスの一体感が感じられました。

運営委員会の子どもたちが、準備や進行を頑張っていたので、この会が成功しました。子どもたち自らの手で会を作り上げていくことは、今後の児童会活動によい影響を与えることと期待しています。

発表した子どもたちは、自分の得意なことを披露し、それがみんなに認められたことで自己肯定感は確実にアップしたはずです。見ていた子どもたちは、友達のよいところを進んで認めることができました。「今度は、自分が挑戦してみよう」と思ったかもしれません。このような機会をきっかけにして、普段の学習活動の中でも「スター」がたくさん出てくるように工夫をしていきたいと思います。

3校ミニ子ども会議（最終）

2月9日（金）に3校ミニ子ども会議（鴨川中・久枝小との連携活動）をオンラインで行いました。各校の取組について、5、6年生が情報共有をしました。この3校で行うことは、主に挨拶運動と環境美化活動です。地域と一体となって進めていますので、子どもたちの活動の様子を温かく見守っていただけたらありがたいです。この3校での連携も、子どもたちが主体となって行っています。子どもたちの力を信じて、今後も連携活動を継続していきたいと思います。

